

授業に役立つ、地域の活動に活かす

参加者募集



フィールドを活かした 環境教育プログラムの作り方

地域での体験は環境教育を実践していくためには欠かせません。しかし、地域のフィールドを活かした教材開発は大変で、手を出しかねておられる方がたくさんいらっしゃるでしょう。この研修では、学校の先生と地域の方が一緒に机を並べ、厚岸周辺をフィールドに実際の授業プログラム案を作ります。授業のヒントを得たり、人と人のネットワークを作るなど、実践的で有意義な実りあふれるワークショップです。夏休みの研修にぜひご参加ください。

プログラム概要

【基調講演】

『霧多布湿原の環境教育と
まちづくり』

【フィールドワーク】

- I：水辺から見る環境教育
(カヌーで川下り)
II：霧多布湿原と環境教育
(湿原プログラム体験)

【講義・実習】

- ・体験学習に基づいた環境教育のポイント
- ・フィールドを活かした環境教育プログラムの作り方

日程 平成22年8月9日(月)～11日(水) 2泊3日

場所 ネイパル厚岸(北海道立厚岸少年自然の家)

北海道厚岸郡厚岸町愛冠6番地

Tel (0153) 52-1151

対象：小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教員及び校長等、または地域で環境保全活動等に取り組んでいる方で、これから環境教育や環境学習に取り組みたいが経験が浅いという方。

定員：40名(先着順：定員になり次第締め切らせていただきます。)

募集締切：7月26日(月曜日)

参加費：一般 5,500円 学生 4,100円 (宿泊、食事5食、傷害保険料込み)

アクセス：JR厚岸駅より無料送迎バス有り。裏面申込書にて要予約。

公共交通機関をご利用ください。車でお越しの場合は乗り合わせなど環境への配慮にご協力をお願いいたします。

<お申し込み方法>

裏面の申込書に必要事項を明記の上、郵送・FAX・メールのいずれかにてご送付ください。

受講決定は可否に関わらず、後日ご連絡させていただきます。

(申し込み・問い合わせ先) 環境省北海道地方環境事務所環境対策課(担当：安田、今村)

〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎3階

Tel (011) 299-1952

FAX (011) 736-1234

Email REO-HOKKAIDO@env.go.jp

<http://hokkaido.env.go.jp>

スケジュール・・・1日目

- | | |
|---|--|
| <p>○講義「コミュニケーションと体験型学習」 講師：山本 幹彦 氏 (NPO 法人当別エコロジカルコミュニティー(TEC) 理事長)</p> | <p>アメリカで開発された環境教育普及を行う傍ら、2002 年から主に「道民の森」において森林環境教育を実践する講師が、体験を通じた体験学習の基礎を説明します。</p> |
|---|--|
- | | |
|---|---|
| <p>○基調講演「霧多布湿原の環境教育とまちづくり」 講師：三膳 時子 氏 (認定NPO法人霧多布湿原トラスト理事長)</p> | <p>昆布漁業の家業と子育てを両立させながら、認定NPO法人霧多布湿原トラスト理事長を務める講師が、設立から現在に至るまで進めてきたまちづくりと教育的なアプローチについて講演します。</p> |
|---|---|
- | | |
|--|--|
| <p>○講義：「標茶高等学校における環境教育の取組（実践事例発表）」 講師：遠藤 友祐 氏（北海道標茶高等学校教諭）</p> | <p>標茶高等学校で取り組んできた環境活動である釧路湿原再生プロジェクトやインタープリターズキャンプ、全国高校生自然環境サミットを中心に、その取組を紹介します。</p> |
|--|--|

スケジュール・・・2日目

- | | |
|---|---|
| <p>○フィールドワーク：プログラム体験 分科会Ⅰ「水辺から見る環境教育」 講師：長岡 滋雄 氏（霧多布湿原自然学校代表）</p> | <p>霧多布湿原センターレンジャーを経て、現在、霧多布湿原自然学校代表、道立厚岸少年自然の家スタッフとして活躍している講師が、水辺をキーワードとした環境教育の視点を、カヌーで川下りをしながら解説します。少しの体力と運動神経が必要です。 (＊ネイパル厚岸常駐の社会教育主幹がカヌーの乗り方の指導をします)</p> |
|---|---|
- | | |
|---|---|
| <p>分科会Ⅱ「湿原と環境教育」 講師：河原 淳 氏（霧多布湿原センター館長）</p> | <p>ケンボッキ島の調査、霧多布湿原いきものリストの作成、緑の回廊事業などに携わり、2006年から霧多布湿原センターに勤務している講師が、湿原プログラムを体験しながら、同センターにおける環境教育プログラムのポイントや視点を解説します。</p> |
|---|---|
- | | |
|---|---|
| <p>○講義「体験学習に基づいた環境教育のポイント」 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人TEC理事長）</p> | <p>講義：体験学習を重視した環境教育・環境学習プログラムの重要性について説明した後、環境教育・環境学習プログラム作成に当たってのポイントの説明をします。</p> |
|---|---|
- | | |
|--|--|
| <p>○実習「環境教育・環境学習プログラム作成」 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表） 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人TEC理事長）</p> | <p>実習：5～6 人のグループに分かれ、実際の授業プログラム案を作成します。（藤田氏は教員を経て、JICA専門員として環境教育に従事。以降、大学や組織等にて環境教育の現場を支えている。）</p> |
|--|--|

スケジュール・・・3日目

- | | |
|--|---|
| <p>○実習「環境教育・環境学習プログラム発表」 講師：藤田 郁男 氏（環境学習フォーラム北海道代表） 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人TEC理事長）</p> | <p>グループ毎に授業プログラム案の発表を行い、参加者からのコメントを取り入れながら修正していきます。</p> |
|--|---|
- | | |
|--|---|
| <p>○講義「3日間のふりかえりとまとめ」 講師：山本 幹彦 氏（NPO 法人TEC理事長）</p> | <p>3日間をふりかえり、参加者の今後の活動にどうつなげていけばよいのかを説明します。</p> |
|--|---|

環境教育リーダー研修基礎講座 申込書

| | | | |
|---|--|--|-----------------------|
| 氏 名 (ふりがな) | 年 齢 歳 | 性 別 男・女 | 所 属 (団体名・学校名・グループ名など) |
| 住 所 (自宅・所属先) 【〒 ー 】 | | 連絡先 (自宅・所属先) 電 話 FAX E-mail | |
| 参加動機や目的 | <p style="text-align: center;">バス送迎 (JR厚岸駅～会場)</p> <input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません | <p style="text-align: center;">希望される分科会に○印をつけてください (ご希望にそえない場合もございます。ご了承ください。)</p> <p style="text-align: center;">分科会Ⅰ ・ 分科会Ⅱ</p> <p style="text-align: center;">カヌー経験 (あり・なし)</p> | |

*都合により、内容及び講師が変更になる場合がございます。

*個人情報保護法に基づき、ご記入いただいた内容は本研修事業以外で利用することはございませんが、今後の研修等の案内や連絡を差し上げることがございます。